



環境のこと、チルナちゃんと勉強しよう!

50年後の地球 子どもたちは笑顔で すか?

「環境問題」ってよく耳にするけれど、難しくてよく分からないという人も多いのでは。
FM AICHIのキャラクター・チルナちゃんと一緒に、環境のこと、勉強しましょう。



エコガイド チルナちゃん

FM AICHIキャラクター。遠い宇宙の彼方、M80.7星雲にある「チルナ星」から、平和とあったかい心(ハート)を運んでやってきました。



解説 船橋康貴さん

フルハシ環境総合研究所・代表取締役社長。企業への環境コンサルティングや環境教育など、さまざまな視点から環境に携わる、エコのプロフェッショナル。「マイはし・マイボトル・マイバッグ」三種のエコ神器は、当然持ち歩いています。

船 「チルナちゃん、インターネットで「環境」って検索したら、どのぐらいヒットすると思う?」

チ 「えっと…、5万件ぐらい?」

船 「残念。なんと、10億件っていわれているんだよ!」

チ 「え〜!!10億件!?!」

船 「ひとつひとつアクセスしていくと何十年もかかりそうだよね(笑)」

チ 「それだけ「環境」は広く深いということですね。でも、宇宙からきたボクには、そもそも何が問題なのか分からないんです。先生、分かりやすく教えて!」

? 今、地球でなにが起こっているの?

地球は太陽のエネルギーによって暖められています。そして、その熱の一部は宇宙に放出され、残りは二酸化炭素などの温室効果ガスに吸収されて地表に戻る、という仕組みになっていますが、今は温室効果ガスが増え、地球が暖かくなりすぎている状態。そして、温暖化によって地球の気候が変わり、私たちの生活にも変化が起きはじめています。

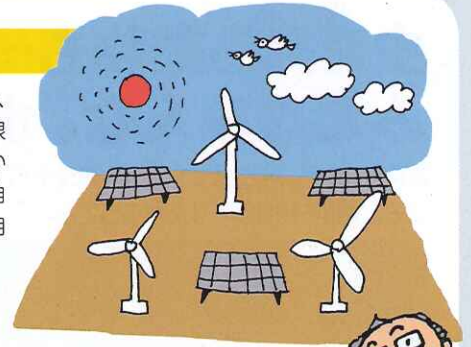
例えば、夏の気温がとて高くなったり、南極や氷山の氷が溶けたり、作物がとれなくなったり…。大変なことになってしまう前に、どうすればいいか、みんなで一緒に考えてみましょう!



温暖化というのは…

1 エネルギーの枯渇

大切なエネルギーである石油は、地球の底から掘り出している有限なもの。掘り続けているといつかは枯渇してしまいます。今後、自然エネルギーをいかに有効活用できるかがカギ。



2 人口の増加

2050年には90億人になるといわれている地球の人口。現時点ですでに、20%ほど定員を超えています。このまま増え続けた場合、食料問題はもとよりさまざまな問題が起こると予測されています。

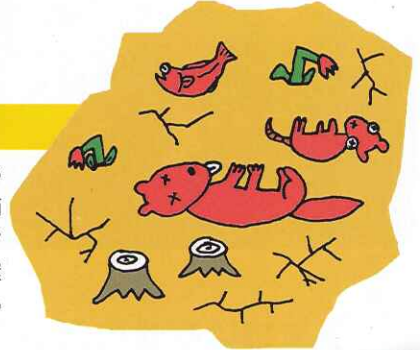
これから地球が生き続けられるか…。今、分岐点に立っているんだよ



それは大変だ!

3 資源の減少

人口が増えた分、資源を分け合わなくてはいけないけれど、熱帯雨林の減少、土地の砂漠化、オゾン層の破壊、生態系の変化など、環境汚染は進み、大切な資源は減る一方です。



TOPICS

子どもに読ませたい eco絵本

山に木を植えました

スギヤマカナヨ・作
島山重篤・監修
講談社1300円



森で生まれて川を流れ、遠い海まで旅をする「フルボさん(酸)」の物語。葉っぱの魚も太陽も、動物も昆虫も地球も、そしてボクたちも、みんなつながっているんだよ。

(協力/メルヘンハウス ☎052・733・6481)

虫も鳥も動物も… みんなみんな、ボクたちの仲間だよ!






2010年10月、名古屋で「生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10)」が開催されます。でも、生物多様性ってなんだろう?



エコは幸せの価値を見直すめがね

生物と生物はつながり合い、助け合って生命(エネルギー)の循環をつくりだしています。そのつながりが切れたとき、私たちの生活はどう変わるのでしょうか。現在、地球上には約3500万種の生物がいるといわれていますが、1日に100~200種が絶滅しています。クルマやパソコン、ケータイも、すべての部品がそろってはじめて機能するように、生物もすべての生態系がそろってこそ、持続可能な社会が実現できるのです。

便利で快適な生活を手に入れた今、私たちの生活に本当に必要なものは何か、みなさんの目で確かめてみてください。

-  船 「農業をたくさん使った野菜と有機野菜、チルナちゃんならどっちを選ぶ?」
-  子 「えっと…。虫がついていない、きれいな野菜がいいな!」
-  船 「農業を使った野菜は、虫がつかないからきれいなカタチをしているんだ。一方、有機野菜の畑にはたくさんの友だち(虫)がいるよね」
-  子 「そうか! 虫がいる方が自然というワケですね」
-  船 「そう、それを“生物多様性”っていうんだよ」

エコアクションの主役は子どもたち

ボク・ワタシたちに できることを考えてみよう!



1 気づくこと

買い物ひとつをとってみても、環境にやさしいものかどうか、気にしてみることが大切です。「気づき」が増えれば、環境にも人にもやさしい心がはぐくまれます。

2 学ぶこと

「どうしてゴミを分別しなくてはいけないの?」「エコアクションってなに?」など、気になることや分からないことはどんどん聞いて、たくさん学びましょう。

3 行動すること

環境にやさしい行動は、ちょっと照れくさいけれど、誇らしいもの。まずは「レジ袋いりません!」って言うてみよう。心の中に少しづつ、幸せ貯金が貯まっていきますよ。

4 人に伝えること

自分がやって気持ちのいいことは、友だちや家族にどんどん話そう!「学校帰りにゴミを拾ったよ」という言葉が、コミュニケーションも広げてくれます。



大人から子どもへ、やさしさのバトンを渡そう

公害問題やゴミ問題など、私たちはこれまでも重大な環境問題に直面し、克服してきました。しかし今回、「地球温暖化」という巨大な課題を前に、右往左往している状態です。私たちは今、分岐点に立っているということに気づいてください。50年後の地球を想像したとき、子どもたちは笑顔ですか? みんなのちょっとしたエコアクションが、必ず大きな力となることを、未来を担う子どもたちにも学んでほしいですね。



子 「先生! ずばり、人類はあと何年生かれますか?」



船 「すべての人の心がけ次第です!」



TOPICS

生物多様性条約 第10回締約国会議(COP10) 2010年10月11日(月)~29日(金)開催!

2010年は、国連の定めた「国際生物多様性年」。また、2002年に行われたCOP6(オランダ・ハーグ)で採択された「締約国は現在の生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させる」という目標年にもあたります。つまり、COP10は生物多様性条約の節目となる大事な会議。環境首都といわれる名古屋の真価が問われそうですね。

